

第55回認定 構造改革特別区域計画の概要

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共団体名)	特区の名称	特区の区域 の範囲	特区計画の概要	特例措置の番号	特例措置の内容
新規計画5件							
1	北海道	深川市 北海道上川郡上川町	北の大地の清酒製造 体験特区	深川市及び北海 道上川郡上川 町の全域	深川市と上川町は、人口減少を背景に地域産業の 衰退や生活・教育基盤の脆弱化といった共通の課題 がある。 深川市は全国屈指の米どころで、農業の後継者や技 術者を多数輩出する農業系学科の短期大学があり、 上川町には、大雪山国立公園の雄大な自然や層雲峡 温泉等の観光資源、道内でも数少ない清酒の酒蔵が あるなど異なった魅力があることから、両自治体を結 ぶ観光振興事業の促進による地域の活性化を検討し ている。 特例措置を活用して、清酒の製造体験施設を深川市 の短期大学内に開設することで、産学官連携による清 酒の商品開発、ブランド化を図るとともに、本社のある 上川町の観光資源を活かすなど、両自治体の地域の 魅力を増進することで、人口減少に負けない活力ある まちづくりを目指す。	712	清酒の製造場における製 造体験事業
2	埼玉県	吉川市	吉川市こども発達セン ター給食搬入特区	吉川市の全域	現在吉川市では、発達障がいに対する認知度や早 期段階で療育を受けるニーズが高まっており、要配慮 児童やその家族を地域で支援する児童発達支援セン ターの整備が求められている。しかし、児童発達支援 センターに求められる給食の施設内調理は、財政的に 過大な負担が生じるため、児童発達支援センター設置 の大きな障壁となっている。 特例措置を活用し、給食の外部搬入方式を導入する ことで、児童発達支援事業所から児童発達支援セン ターへ移行することができる。これにより、地域の中心 的な療育施設として、要配慮児童やその家族に対する 支援、要配慮児童を取り巻く環境の整備等を行い、市 内の療育サービスの質の向上、総合的な支援体制の 充実を図っていく。	939	児童発達支援センターにお ける給食の外部搬入方式 の容認事業
3	神奈川県	秦野市	秦野名水どぶろく特区	秦野市の全域	秦野市には、丹沢からもたらされる豊かな湧水が各 所にあり、昭和60年に環境省「名水百選」に選定され るとともに、平成28年には「名水百選選抜総選挙おい しさが素晴らしい名水部門」で日本一に選ばれている。 この秦野市域に存在する地下水を水源とする水は、 「秦野名水」として、地域経済の活性化や「名水の里秦 野」のブランド力向上のため様々な活用が図られてい る。 特例措置を活用することで、秦野市の誇る「秦野名 水」を使った「どぶろく」を秦野市の特産品として押し上 げ、観光滞在の促進、地場産品の地産地消、農村を 含めた地域活性化に取り組む。	707(708)	特定農業者による特定酒 類の製造事業
4	山梨県	山梨県南都留郡 富士河口湖町	富士河口湖町保育所 給食特区	山梨県南都留 郡富士河口湖 町の全域	富士河口湖町では、核家族化や女性の社会進出、 就労形態の多様化に伴い保育サービスに対するニー ズが増加している。また、計画にある大石保育所は、 入所児童が少人数で食材の一括購入が困難であるた め、調達できる食材に限られてくる。加えて、既存の調 理室が老朽化しており、随時改修等の財政負担が大 きい。 特例措置を活用することで、近隣の保育所において 調理した給食を外部搬入することができる。これにより 効率的な運営や豊富な材料を取り入れた給食を安定 的に提供することが可能となる。また、節減された経費 を活用し、多様化する保育ニーズに対応したサービ スの充実を図る。	920	公立保育所 における給食の外部搬入方 式の容認事業
5	島根県	益田市	益田市ワイン特区	益田市の全域	益田市はブドウの生産地として知られ、特に加工用 ブドウについては県内最大の産地でもある。益田市の ブドウを原料としたワインは、日本ワインコンテストにて 銀賞を受賞するといった優秀な成績を挙げているが、 製造は市外で行われ、「鳥根県産ワイン」として流通し ている。 本特例措置を活用し、農業者が自己製造する地産自 醸モデルを確立し、「益田産ワイン」のブランドを立ち上 げる。これにより新たなビジネスモデルとして農業者や 新規事業参入者に提示することができる。ブドウ農家 を中心に市農業の振興と意識改革を行いながら、耕作 放棄地の解消と地域農業の再生や新たな観光資源の 確立を図る。	709(710,711)	特産酒類の製造事業